

# 〈神〉と〈鬼〉の間



[〈神〉と〈鬼〉の間\\_下载链接1\\_](#)

著者:志賀市子

出版者:風響社

出版时间:2012-9

装帧:

isbn:9784894891890

「聖人公媽」「百姓公」「有応公」「義民爺」など、華南沿海に広く見られる無縁死者への信仰。民俗の下層に沈潜するこれらの事象を分析し、東アジアに共通する靈魂観への視座を掘り起こした労作。

作者介绍:

志賀市子（しが いちこ）

1963年東京都生まれ。  
筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科修了。文学博士。

専攻は文化人類学、民俗学、中国華南地域の道教及び民間信仰研究。

現在、茨城キリスト教大学文学部教授。

主著書として、『近代中国のシャーマニズムと道教—香港の道壇と扶乩信仰』（勉誠出版、1999年）、『中国のこっくりさん—扶鸞信仰と華人社会』（大修館書店、2003年）、『日本人の中国民具収集—歴史的背景と今日的意義』（風響社、2008年、共編著）、『東アジアにおける宗教文化の再構築』（風響社、2010年、共著）。論文として、「民国期広州の道教系善堂—省躬草堂の活動事業とその変遷」（『中国—社会と文化』第22号、2007年）、「地方道教之形成：広東地区扶鸞結社運動之興起與演变(1838—1953)」（『道教研究学報：宗教、歴史與社会』第二期、2010年）、「先天道嶺南道脈の思想和実践—以広東清遠飛霞洞為例」（『民俗曲芸』第173期、2011年）など。

目録: まえがき

序章 神と鬼の間

一中国の神霊観における無縁死者の位置づけ

第一章 聖なる死者

一海陸豊地域における「聖人公媽」信仰

第二章 鬼から神へ—聖人公媽信仰の成立と展開

第三章 清代潮汕地域における無縁死者の埋葬と祭祀

第四章 近代潮汕善堂の勃興と宋太峰信仰

第五章 無縁死者の表象とその変容

一民国期から改革開放期まで

終章 無縁死者をめぐる表象のポリティックス

附論 台湾の義民爺信仰

あとがき

引用・参考文献

索引

・ ・ ・ ・ ・ ([收起](#))

[〈神〉と〈鬼〉の間\\_ダウンロード1](#)

标签

民间信仰

东方

东南

2012

宗教

评论

-----  
[〈神〉と〈鬼〉の間\\_下载链接1](#)

书评

-----  
[〈神〉と〈鬼〉の間\\_下载链接1](#)